

# 令和6年度 自治会連合会と地域市民の集い（片町文化センター圏域）・議事録（敬称略）

1. 日時 令和6年9月8日（日）午前 10 時～12 時
2. 場所 片町文化センター 講堂
3. 出席者 24 名
4. 書記 松木紀美子
5. 会議の概要 【司会進行：棕田事務局長】

## （1）会長挨拶 志水会長

## （2）府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、山岡、棕田、林田、久保寺、谷本、松木（7名）

片町文化センター圏域：本町一丁目自治会、府中本町二・三丁目自治会、本町四丁目自治会、美好町1丁目自治会、分梅第一自治会、分梅高倉自治会（6 団体：9名）

災害時クッキングのみ参加：8名

## （3）府中市自治会連合会・自治会についての説明（棕田）

## （4）五部会の活動状況

- ・市民協働対策部
- ・生活安全対策部
- ・環境対策部
- ・福祉対策部
- ・デジタル化対策部会
- ・助成金

## （5）懇談会

①自治会の会館として使っている建物やその敷地が、宗教法人化された関係で設備等の修繕に補助金が使えなくなった。

自治連：自治会が使っている設備については、通常府中市の補助金に対応できる。エアコンなど建物に付随しているものは、個別に相談が必要と思われる。発電機などは、保管しているだけなら補助金の対象となるのでは。また、餅は帯のできる備品などは、東京都の補助金の対象と出来る。

②自治会のエリアが、ハケ上とハケ下にまたがっている。地震などの災害で避難するとき、避難場所が3小となっていて、ハケ上の住人がハケ下に避難するのはどうかと思うが、1小に避難してもよいのか？また、通称ぐるぐるも老朽化が進んでいて心配だ。

自治連：通常、災害時の避難に関する地域個別の対応については、文化センターごとに置かれる自主防災連絡会で話し合うことになっているが、コロナ禍以降、11 地域のうち活発に活動出来ているところとそうでないところがあり、この地域は後者となっている。自主的な組織ではあるが、まずは市が動いてくれないとスタートすることが難しい。市の防災課とも相談して進めてもらうようにした方が良いのでは。

③掲示板4日世の修理をしたが、かなりの費用が掛かった。一か所は個人宅の前にあったが立替をするとのことで、公園のところに移動した。補助金の制度はあるのか？

自治連：市の補助制度がある（コミュニティ課担当）

④役員の後継者がいない。デジタル化対応もできない。市の災害時用支援者名簿だが、75 才になった時だけ登録の問い合わせがされている。自主的な申し出なので、客観的に見て、とても元気な人が登録していたりするし、一方でそれ以上の年齢になり支援が必要になった人の情報が更新されていないこともある。自治会としては対応が難しい。

⑤民生委員と自治会との連携がうまくできていない。例えば、災害時用支援者の名簿でも、自治会は自治会のメンバーのみで、民生委員はそれ以外の全員の名簿を持っているが、個人情報のため、連携しづらい。